

金沢大学では、2018（平成30）年4月に人間社会学域及び理工学域の改組を構想中であり、改組に関する募集人員及び入学者選抜方法等については、現在検討中です。

平成30年度 金沢大学入学者選抜について（2年前予告）は、現時点（平成28年4月）での内容であり、今後、変更する場合があります。

## 平成30年度 金沢大学入学者選抜について

平成30年度入学者選抜についての変更は下記のとおりです。（注：推薦入試Ⅰは大学入試センター試験を課さない選抜を、推薦入試Ⅱは大学入試センター試験を課す選抜を表します。）

### 1 募集について

- ① 理工学域の改組について
- ② 「文系後期一括、理系後期一括」入試について
- ③ 人間社会学域人文学類人間科学コース（専門分野：哲学・人間学）、歴史文化学コース（専門分野：日本史学、東洋史学、西洋史学）、言語文化学コース（専門分野：中国語学中国文学） 推薦入試Ⅰの募集取りやめ
- ④ 人間社会学域経済学類の一般入試（後期日程）の募集取りやめ
- ⑤ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試の変更（推薦入試Ⅱ（地域枠と専修枠）に変更）
- ⑥ 人間社会学域地域創造学類の推薦入試の変更（健康スポーツコースの廃止と推薦入試Ⅱへの変更）
- ⑦ 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試の変更（薬学類と創薬科学類を分けて募集）
- ⑧ 医薬保健学域保健学類理学療法専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

### 2 教科・科目等について

<文系後期一括、理系後期一括入試>

- ① 「文系後期一括、理系後期一括」入試で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点

<英語外部試験の利用>

- ② 大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について

<人間社会学域法学類>

- ③ 一般入試（前期日程L方式）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）
- ④ 一般入試（前期日程M方式）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）
- ⑤ 一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）
- ⑥ 推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）

<人間社会学域経済学類>

- ⑦ 一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）と個別学力検査等で課す科目と配点の変更（国語の取り止めとそれに伴う配点変更）

<人間社会学域学校教育学類>

- ⑧ 一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目の変更（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）
- ⑨ 推薦入試Ⅱの「~~地域枠~~」の推薦要件及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点  
「石川県教員希望枠」に名称変更
- ⑩ 推薦入試Ⅱの専修枠「国語・社会科・英語教育専修」の推薦要件の変更及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑪ 推薦入試Ⅱの専修枠「数学・理科教育専修」の推薦要件の変更及びセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑫ 特別支援教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「特別支援教育専修」に変更
- ⑬ 美術教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「美術教育専修」に変更
- ⑭ 保健体育専修及び家政教育専修の推薦入試Ⅱを専修枠「保健体育専修」及び「家政教育専修」として大学入試センター試験の課す科目の変更（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）

<人間社会学域地域創造学類>

- ⑮ 一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目変更（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）及び配点変更（外国語）
- ⑯ 一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の科目の変更（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）
- ⑰ 福祉マネジメントコースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更
- ⑱ 環境共生コースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

<医薬保健学域医学類>

- ⑲ 推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠（石川県枠・富山県枠）〕の推薦要件の変更（成績が「A段階以上」を「**A**段階」に変更）

<医薬保健学域薬学類・創薬科学類>

- ⑳ A〇入試の変更（選抜方法と日程）

<医薬保健学域保健学類>

- ㉑ 放射線技術科学専攻の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点変更（国語と理科）及び個別学力検査等で課す科目と配点の変更（数学の新設，理科の「生物基礎」・「生物」を取り止め）
- ㉒ 放射線技術科学専攻の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点変更（国語と理科）
- ㉓ 放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点変更（国語と理科）
- ㉔ 検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点の変更（数学の新設）
- ㉕ 理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

## 1 募集について

- ① 理工学域について以下のとおり改組の予定があります。**(現在構想中であり、内容変更がある場合があります。)**

平成 29 年度	平成 30 年度 (予定)
数物科学類	数物科学類
物質化学類	物質化学類
機械工学類	機械工学類
電子情報学類	フロンティア工学類 (仮称)
環境デザイン学類	電子情報通信学類 (仮称)
自然システム学類	地球社会基盤学類 (仮称)
	生命理工学類 (仮称)

- ② 「文系後期一括、理系後期一括」入試の概要は以下のとおりです。(入試教科・科目等は別に示します。)  
 <学域・学類への移行について> **(現在構想中であり、内容変更がある場合があります。)**

入試	1年次の所属	2年次からの所属	
一括入試 (後期)		学域	学 類
文系 (募集人員 60 名程度)	国際基幹教育院 総合教育部	人間社会学域	人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 地域創造学類 国際学類
理系 (募集人員 70 名程度)	国際基幹教育院 総合教育部	理工学域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 (仮称) 電子情報通信学類 (仮称) 地球社会基盤学類 (仮称) 生命理工学類 (仮称)
		医薬保健学域	医学類 創薬科学類 保健学類

- ③ 人間社会学域人文学類人間科学コース(専門分野:哲学・人間学), 歴史文化学コース(専門分野:日本史学, 東洋史学, 西洋史学), 言語文化学コース(専門分野:中国語学中国文学)において推薦入試 I の募集を取りやめます。
- ④ 人間社会学域経済学類の一般入試(後期日程)の募集を取りやめます。

- ⑤ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試について「地域枠」及び「専修枠」を設けるとともに、以下のとおり変更します。（「地域枠」及び「専修枠」の推薦要件、入試教科・科目等は別に示します。）

平成 29 年度		平成 30 年度	
推薦入試 I	特別支援教育専修 美術教育専修	推薦入試 II	地域枠 「石川県教員希望枠」に名称変更
推薦入試 II	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 保健体育専修 家政教育専修 英語教育専修	専修枠	国語・社会科・英語教育専修 数学・理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家政教育専修 特別支援教育専修

- ⑥ 人間社会学域地域創造学類の推薦入試について、以下のとおり変更します。

（推薦要件、入試教科・科目等は別に示します。健康スポーツコースは廃止の予定です。）

平成 29 年度		平成 30 年度	
推薦入試 I	福祉マネジメントコース 環境共生コース	推薦入試 II	福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース
推薦入試 II	地域プランニングコース 健康スポーツコース		

- ⑦ 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試について、薬学類（6年制）と創薬科学類（4年制）での一括の募集から、薬学類と創薬科学類にそれぞれ分けて募集することに変更するとともに、選抜方法等を変更します。（出願資格、出願基準、選抜方法、日程等は別に示します。）

- ⑧ 医薬保健学域保健学類理学療法学専攻の推薦入試 I を推薦入試 II に変更します。（推薦要件、入試教科・科目等は別に示します。）

## 2 教科・科目等について

- ①「文系後期一括，理系後期一括」入試で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点は以下のとおりです。

### 【「文系後期一括」入試】

		選抜方法等と配点									
		教科	科目名等								
科目等	センター試験	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	(「国語」) (「世界史B」，「日本史B」，「地理B」から1) (「現代社会」，「倫理」，「政治・経済」，「倫理，政治・経済」から1) (「数学Ⅰ・数学A」)と(「数学Ⅱ・数学B」) (「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2) 又は (「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1) (「英語」)								から2～4 (注1)
	個別学力検査等	その他	総合問題 (英文を含む場合があります)								
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	総合問題	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	※200(100×2) (注2)					200			400	
	個別学力検査等						300		300		
	計	200					200	300		700	

注1：{「国語」，「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」}から2教科を選択します。{「国語」，「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」}から3科目となるのは，「数学」2科目もしくは「理科」の基礎を付した科目2科目と他教科の1科目の場合のみです。また，「国語」，「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」から4科目となるのは「数学」2科目と「理科」の基礎を付した科目2科目の場合のみです。

注2：配点に※印を付してある教科は，選択教科を表します。(以下同じ)

### 【「理系後期一括」入試】

		選抜方法等と配点									
		教科	科目名等								
科目等	センター試験	数学 外国語	(「数学Ⅰ・数学A」)と(「数学Ⅱ・数学B」) (「英語」)								[2教科3科目]
	個別学力検査等	理科	「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から1								
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	総合問題	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験					100	100			200	
	個別学力検査等				300					300	
	計				300	100	100			500	

② 大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について

大学入試センター試験の外国語「英語」について下記のとおり外部試験のスコアの提出を認めます。外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

以下の表に○で示す試験区分においては、外部試験のスコアの提出を認め、GTEC-CBT: 820～1100, TOEFL-iBT: 45～68, TEAP: 246～304, IELTS (アカデミック・モジュール) バンド 3.0～6.0 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、外部試験のスコアに応じて与えます。GTEC-CBT: 1100 以上, TOEFL-iBT: 68 以上, TEAP: 304 以上, IELTS (アカデミック・モジュール) バンド 6.0 以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。

以下の表に\*で示す医学類の推薦入試Ⅱにおいては、外部試験のスコアの提出を認め、CEFR のC1 相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます (C1 相当以上のスコアとは、GTEC-CBT: 1400, TOEFL-iBT: 95-120, IELTS: 7.0 以上, TEAP: 400 に相当します)。選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等 (調査書、推薦書、志願理由書、上記の外部試験のスコア) を総合して行います。ただし、外部試験の受験は出願資格ではありません。

<上記の外部試験のスコアの提出を認める試験区分> ○と\*は外部試験のスコアの提出を認める試験区分です。

学 域	学 類	前期日程	後期日程	推薦入試Ⅱ	AO入試
人間社会学域	人文学類	○	○	—	—
	法学類			○	
	経済学類	○	—	—	
	学校教育学類	○		○	
	地域創造学類	○	○	○	
	国際学類	○	○	—	
理工学域	数物科学類	(検討中)			
	物質化学類				
	機械工学類				
	フロンティア工学類 (仮称)				
	電子情報通信学類 (仮称)				
	地球社会基盤学類 (仮称)				
生命理工学類 (仮称)					
医薬保健学域	医学類		—	*	
	薬学類・創薬科学類			—	○
	保健学類	○	○	○	
文系後期一括, 理系後期一括		—	○	—	—

(注) — は募集しない試験区分、空欄は外部試験を利用しない試験区分です。

③ 人間社会学域法学類の一般入試（前期日程L方式）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
個別学力検査等	300					300			600	
合計	500	200		100	200	500			1500	



【変更後（平成30年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
個別学力検査等	300					300			600	
合計	500	200		100	200	550			1550	

④ 人間社会学域法学類の一般入試（前期日程M方式）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
個別学力検査等					300	300			600	
合計	200	200		100	500	500			1500	



【変更後（平成30年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
個別学力検査等					300	300			600	
合計	200	200		100	500	550			1550	

⑤ 人間社会学域法学類の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
	個別学力 検査等							600		600
	合 計	200	200		100	200	200	600		1500



【変更後（平成30年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
	個別学力 検査等							600		600
	合 計	200	200		100	200	250	600		1550

⑥ 人間社会学域法学類の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	100	※100 (100×1)			100	100			400
	個別学力 検査等							400		400
	合 計	100	100			100	100	400		800



【変更後（平成30年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	100	※100 (100×1)			100	125			425
	個別学力 検査等							400		400
	合 計	100	100			100	125	400		825



- ⑦ 人間社会学域経済学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

科目等	個別学力検査等	国語	「国語総合」							
		数学 外国語	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」, 「ドイツ語」から1							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
	個別学力検査等	200				200	200			600
	計	400	200		100	400	400			1500



【変更後（平成30年度）】

科目等	個別学力検査等	数 学 外 国 語	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
配点	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
	個別学力検査等					300	300			600
	計	200	200		100	500	550			1550

⑧ 人間社会学域学校教育学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

	教科	科目等名
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語  (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から2 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】, 【5教科8科目】, 【6教科7科目】又は【6教科8科目】
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語  (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (注2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

	教科	科目等名
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語  (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から1又は2) } から2 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1) } (注1) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】, 【5教科8科目】, 【6教科7科目】又は【6教科8科目】
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語  (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (注3) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注3：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑨ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試Ⅱの「地域枠」の推薦要件及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を以下のとおりとします。「石川県教員希望枠」に名称変更

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにふさわしい資質・適性について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 卒業後、石川県内の学校園に教員として勤務する強い意志を持つ者	
※ 学校教育学類地域枠の入学後の各専修への配属は、一般入試と同様に2年進級時に決定します。	
<b>「石川県教員希望枠」に名称変更</b>	

選抜方法等と配点										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。なお、本学類が課す大学入試センター試験の成績（500点満点）の得点が概ね375点（75%）以上を合格の基準とします。										
		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）							
		公 民	（（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」）から1							
		数 学	（「数学I・数学A」と							
		理 科	（「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）							
		外 国 語	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）							
			又は							
			（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）							
			（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			[5教科6科目]又は[5教科7科目]							
	個別学力検査等	その他	面接							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500
	個別学力検査等							300		300
	計	100	100		100	100	100		300	800

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

- ⑩ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試Ⅱの専修枠「国語・社会科・英語教育専修」の推薦要件の変更及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を以下のとおりとします。

【変更前（平成29年度）】（国語教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにあつては資質・適正について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>

【変更前（平成29年度）】（社会科教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>

【変更前（平成29年度）】（英語教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>



【変更後（平成30年度）】（国語・社会科・英語教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>

選抜方法等と配点										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。										
		教科	科目名等							
科目等	センター試験	国語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2）							
		公民	（（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1）から2）							
		数学	（「数学I・数学A」と）							
		理科	（「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注2）							
		外国語	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）							
			又は							
			（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）							
			（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕							
科目等	個別学力検査等	その他	面接							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	100	200			800
	個別学力検査等							300		300
	計	200	200		100	100	200		300	1100

注1：『「地理歴史」「公民』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑩ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試Ⅱの専修枠「数学・理科教育専修」の推薦要件の変更及びセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を以下のとおりとします。

【変更前（平成29年度）】（数学教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

【変更前（平成29年度）】（理科教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

【変更後（平成30年度）】（数学・理科教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

選抜方法等と配点	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）							
		公 民	（（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」）から1）							
		数 学	（「数学I・数学A」と （「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）							
		理 科	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）と （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）（注2）							
			又は （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2）							
		外 国 語	（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			【5教科7科目】又は【5教科8科目】							
	個別学力 検査等	その他	面接							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		200	200	100			700
	個別学力 検査等							300		300
	計	100	100		200	200	100		300	1000

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：「理科」のうち「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせて選択することはできません。

- ⑫ 人間社会学域学校教育学類 特別支援教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「特別支援教育専修」に変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

選 抜 方 法 等	
1.	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2.	選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。
3.	配点
	小論文 400点
	面 接 200点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1.	次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
(1)	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2)	通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者
(3)	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者
2.	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの
3.	合格した場合、入学することを確約できる者
4.	推薦は、1校につき2名以内とします。

選 抜 方 法 等																																									
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教 科</th> <th>科 目 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">科 目 等</td> <td>センター試験</td> <td>           国 語 (「国語」)            地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)            公 民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1            数 学 (「数学I・数学A」と            「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1)            理 科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)            又は            (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1)            外 国 語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)            [5教科6科目]又は[5教科7科目]         </td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td>その他 面接</td> </tr> </tbody> </table>	教 科	科 目 名 等	科 目 等	センター試験	国 語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公 民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数 学 (「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) 理 科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外 国 語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科6科目]又は[5教科7科目]	個別学力検査等	その他 面接																																	
教 科	科 目 名 等																																								
科 目 等	センター試験	国 語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公 民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数 学 (「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) 理 科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外 国 語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科6科目]又は[5教科7科目]																																							
	個別学力検査等	その他 面接																																							
配 点	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>理科</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接・口述試験</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>100</td> <td colspan="2">※100 (100×1)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100</td> <td colspan="2">100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>300</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500	個別学力検査等								300	300	計	100	100		100	100	100		300	800
	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計																																
センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500																																
個別学力検査等								300	300																																
計	100	100		100	100	100		300	800																																

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑬ 人間社会学域学校教育学類 美術教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「美術教育専修」に変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から3のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、実技、小論文、面接（作品提出を含む）の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	
3. 配点	
実 技	50 点
小論文	30 点
面 接	20 点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から3のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	

選 抜 方 法 等																																																																										
選抜は、大学入試センター試験の成績、実技、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>教 科</th> <th colspan="8">科 目 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">科 目 等</td> <td rowspan="2">センター試験</td> <td>国 語</td> <td colspan="8">                     (「国語」)                      } から1                      外 国 語 (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1)                      } から1                      地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」)                      } から1                      公 民 (「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)                      } から1又は2                      数 学 (「数学Ⅰ・数学A」と (注1)                      (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (注2)                      理 科 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2)                      } から1又は2                      又は (注2)                      (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1)                      [2教科2科目]又は[2教科3科目]                 </td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td>その他</td> <td colspan="8">実技、面接（作品提出を含む）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">配 点</td> <td></td> <td>国語</td> <td>地歴</td> <td>公民</td> <td>理科</td> <td>数学</td> <td>外国語</td> <td>実技</td> <td>面接・口述試験</td> <td>配点合計</td> </tr> <tr> <td>センター試験</td> <td>※200</td> <td colspan="4">※200(200×1)</td> <td>※200</td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>400</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>※200</td> <td colspan="4">200</td> <td>※200</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table>			教 科	科 目 名 等								科 目 等	センター試験	国 語	(「国語」) } から1 外 国 語 (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) } から1 地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) } から1 公 民 (「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」) } から1又は2 数 学 (「数学Ⅰ・数学A」と (注1) (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (注2) 理 科 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2) } から1又は2 又は (注2) (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1) [2教科2科目]又は[2教科3科目]								個別学力検査等	その他	実技、面接（作品提出を含む）								配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	実技	面接・口述試験	配点合計	センター試験	※200	※200(200×1)				※200			400	個別学力検査等							400	200	600	計	※200	200				※200	400	200	1000
		教 科	科 目 名 等																																																																							
科 目 等	センター試験	国 語	(「国語」) } から1 外 国 語 (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) } から1 地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) } から1 公 民 (「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」) } から1又は2 数 学 (「数学Ⅰ・数学A」と (注1) (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (注2) 理 科 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2) } から1又は2 又は (注2) (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1) [2教科2科目]又は[2教科3科目]																																																																							
		個別学力検査等	その他	実技、面接（作品提出を含む）																																																																						
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	実技	面接・口述試験	配点合計																																																																
	センター試験	※200	※200(200×1)				※200			400																																																																
	個別学力検査等							400	200	600																																																																
	計	※200	200				※200	400	200	1000																																																																



注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：『「地理歴史」「公民」，「数学」，「理科」から2科目となるのは「数学」2科目を選択した場合と「理科」の基礎を付した科目2科目を選択した場合のみです。

⑭ 人間社会学域学校教育学類 保健体育専修及び家政教育専修の推薦入試Ⅱを専修枠「保健体育専修」及び「家政教育専修」として大学入試センター試験の課す科目を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

	教科	科目名等
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 （「国語」） （「世界史B」，「日本史B」，「地理B」） } から2 （「倫理，政治・経済」） （「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から1）（注1） （「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2） 又は （「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1） （「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1） 【5教科7科目】，【5教科8科目】，【6教科7科目】又は【6教科8科目】
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 （「国語」） （「世界史B」，「日本史B」，「地理B」） } から1 （「倫理，政治・経済」） （「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から1）（注1） （「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2）と （「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1）（注2） 又は （「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2） （「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1） 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について，同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

	教科	科目名等
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語  (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2) (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1) } から2 (注1) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目]又は[6教科8科目]
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語  (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (注3) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目]又は[5教科8科目]

注1：『「地理歴史」「公民』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注3：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑮ 人間社会学域地域創造学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目及び配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		教 科		科 目 名 等							
センター試験	パターンA	国 語 地理歴史 公 民 数 学 理 科 外国語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から2 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) <b>[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目]又は[6教科8科目]</b>								
	パターンB	国 語 地理歴史 公 民 数 学 理 科 外国語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (注2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) <b>[5教科7科目]又は[5教科8科目]</b>								
配点		パターン	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	パターンA	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
		パターンB	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等		※200				※200	※200			400
	計	パターンA 国・数選択 (個別)	400	200		100	400	200			1300
		パターンA 国・外選択 (個別)	400	200		100	200	400			
		パターンA 数・外選択 (個別)	200	200		100	400	400			
		パターンB 国・数選択 (個別)	400	100		200	400	200			
パターンB 国・外選択 (個別)		400	100		200	200	400				
パターンB 数・外選択 (個別)		200	100		200	400	400				

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

		教 科		科 目 名 等							
センター試験	パターンA	国語	(「国語」) (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) } から2 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } (注1) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目]又は[6教科8科目]								
		地理歴史									
	公民										
	数学										
	理科										
	外国語										
	パターンB	国語	(「国語」) (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) } から1 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (注3) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目]又は[5教科8科目]								
		地理歴史									
		公民									
		数学									
		理科									
		外国語									
配点		パターン	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	パターンA	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
		パターンB	200	※100 (100×1)		200	200	250			950
		個別学力検査等	※200				※200	※200			400
	計	パターンA 国・数選択 (個別)	400	200		100	400	250			1350
		パターンA 国・外選択 (個別)	400	200		100	200	450			
		パターンA 数・外選択 (個別)	200	200		100	400	450			
		パターンB 国・数選択 (個別)	400	100		200	400	250			
		パターンB 国・外選択 (個別)	400	100		200	200	450			
		パターンB 数・外選択 (個別)	200	100		200	400	450			

注1：パターンAの（「地理歴史」及び「公民」）から2科目選択について、同一名称を含む科目（例えば「地理A」と「地理B」, 「倫理」と「倫理, 政治・経済」）を組み合わせることはできません。

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注3：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑯ 人間社会学域地域創造学類の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

	教科	科目名等
センター試験	国語	（「国語」）
	地理歴史	（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）
	公民	（「倫理, 政治・経済」）
	数学	（「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）（注1）
	理科	（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）
	外国語	（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）
		【2教科2科目】又は【2教科3科目】

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：大学入試センター試験において、{「国語」, 『「地理歴史」「公民」』, 「数学」, 「理科」, 「外国語」} から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。



【変更後（平成30年度）】

	教科	科目名等
センター試験	国語	（「国語」）
	地理歴史	（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」）
	公民	（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）
	数学	（「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）（注1）
	理科	（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）
	外国語	（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）
		【2教科2科目】又は【2教科3科目】

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：大学入試センター試験において、{「国語」, 『「地理歴史」「公民」』, 「数学」, 「理科」, 「外国語」} から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

⑰ 人間社会学域地域創造学類 福祉マネジメントコースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。	
3. 配点	
小論文	100点
面接	100点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	〔国語〕							
		地 理 歴 史	〔世界史A〕,〔世界史B〕,〔日本史A〕,〔日本史B〕, 〔地理A〕,〔地理B〕							
		公 民	〔現代社会〕,〔倫理〕,〔政治・経済〕, 〔倫理, 政治・経済〕							
		外 国 語	〔英語〕							
			} から1							
			[3教科3科目]							
	個別学力検査等	その他	面接							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)				200			500
	個別学力検査等							500	500	
	計	200	100				200		500	1000

⑱ 人間社会学域地域創造学類 環境共生コースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。	
3. 配点	
小論文	100点
面接	100点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等								
科 目 等	センター試験	国 語	〔国語〕								
		地 理 歴 史	〔世界史A〕,〔世界史B〕,〔日本史A〕,〔日本史B〕,〔地理A〕,〔地理B〕から1)								
科 目 等	センター試験	公 民 学	〔現代社会〕,〔倫理〕,〔政治・経済〕,〔倫理,政治・経済〕から1)								
		数 学	〔数学Ⅰ・数学A〕,〔数学Ⅱ・数学B〕,〔簿記・会計〕,〔情報関係基礎〕から1) (注1)								
科 目 等	センター試験	理 科	〔物理基礎〕,〔化学基礎〕,〔生物基礎〕,〔地学基礎〕から2)								
		外 国 語	又は 〔物理〕,〔化学〕,〔生物〕,〔地学〕から1) 〔英語〕,〔ドイツ語〕,〔フランス語〕,〔中国語〕,〔韓国語〕から1)								
		〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕									
配 点	センター試験	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
		※200(100×2)								200	
配 点	個別学力検査等									400	400
		計								200	400

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：大学入試センター試験において、{「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」}から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

- ⑱ 医薬保健学域医学類の推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠（石川県枠・富山県枠）〕の推薦要件を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月に修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上（評定平均4.3以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの
3. 合格した場合、入学することを確約できる者



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月に修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階（評定平均4.3以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの
3. 合格した場合、入学することを確約できる者



⑳ 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試について、下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

事 項	内 容																												
募 集 人 員	薬学類（6年制）と創薬科学類（4年制）の選抜は一括で募集します。																												
出 願 資 格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの																												
選 抜 方 法 等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、その他の書類により、書類選考を行います。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリングならびに大学入試センター試験により選考します。本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が概ね640点（80%）以上を合格の基準とし、レポートと口述試験の得点の高い者を合格者とします。 ①スクーリング 1日目：受講した演習実験又は課された実験課題などについて、レポートを課します。 2日目：1日目に提出されたレポートに基づいて、口述試験を実施します。数学・理科・英語などに対する勉学意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。 ②大学入試センター試験 大学入試センター試験で課す教科・科目名 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">国 語</td> <td style="width: 30%;">(国語)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">100 点</td> </tr> <tr> <td>地 理 歴 史</td> <td>(世界史B, 日本史B, 地理B)</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">から1 100 点</td> </tr> <tr> <td>公 民</td> <td>(倫・政経)</td> </tr> <tr> <td>数 学</td> <td>(数I・数A)と (数II・数B, 簿, 情報から1)</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>(物理と化学)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200 点</td> </tr> <tr> <td>外 国 語</td> <td>(英, 独, 仏, 中, 韓から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200 点</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">合計 800 点</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">[5教科7科目]</td> </tr> </table> 4. 配点 レポート 100点 口述試験 50点	国 語	(国語)		100 点	地 理 歴 史	(世界史B, 日本史B, 地理B)	}	から1 100 点	公 民	(倫・政経)	数 学	(数I・数A)と (数II・数B, 簿, 情報から1)	理 科	(物理と化学)		200 点	外 国 語	(英, 独, 仏, 中, 韓から1)		200 点				合計 800 点				[5教科7科目]
国 語	(国語)		100 点																										
地 理 歴 史	(世界史B, 日本史B, 地理B)	}	から1 100 点																										
公 民	(倫・政経)																												
数 学	(数I・数A)と (数II・数B, 簿, 情報から1)																												
理 科	(物理と化学)		200 点																										
外 国 語	(英, 独, 仏, 中, 韓から1)		200 点																										
			合計 800 点																										
			[5教科7科目]																										
日 程 等	<出願時期> 10月中旬 <第1次選考結果発表> 11月上旬 <最終選考> 11月下旬 <大学入試センター試験> 1月中旬 <合格発表> 2月上旬																												



【変更後（平成30年度）】

事 項	内 容																														
募 集 人 員	薬学類（6年制）と創薬科学類（4年制）の選抜はそれぞれ分けて募集します。																														
出 願 資 格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者																														
出 願 基 準	<p>次のすべてを満たす者</p> <p>1. 学業成績が優秀で、人物的に優れ、大学入試センター試験（800満点）の得点が600点（75%）以上の者</p> <p>2. 本学ドクターコース（薬学専攻博士課程または創薬科学専攻博士後期課程）までの一貫した教育を受け、薬学教育・研究者や創薬研究者を志す者</p> <p>※ 大学入試センター試験で課す教科・科目名と配点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国 語</td> <td style="width: 55%;">（国語）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100 点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>（世界史B, 日本史B, 地理B）</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>公 民</td> <td>（倫・政経）</td> </tr> <tr> <td>数 学</td> <td>（数Ⅰ・数A）と （数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200 点</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>（物理と化学）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200 点</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>（英（注1）, 独, 仏, 中, 韓から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 800 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">[5 教科7 科目]</td> </tr> </table> <p>配点については変更する可能性があります。</p> <p>（注1） 英語外部試験のスコア利用を認めます。詳細については6ページ「2 教科科目等について②大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について」をご覧ください。</p>	国 語	（国語）		100 点	地理歴史	（世界史B, 日本史B, 地理B）	}	から1	公 民	（倫・政経）	数 学	（数Ⅰ・数A）と （数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1）		200 点	理 科	（物理と化学）		200 点	外国語	（英（注1）, 独, 仏, 中, 韓から1）		200 点				合計 800 点				[5 教科7 科目]
国 語	（国語）		100 点																												
地理歴史	（世界史B, 日本史B, 地理B）	}	から1																												
公 民	（倫・政経）																														
数 学	（数Ⅰ・数A）と （数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1）		200 点																												
理 科	（物理と化学）		200 点																												
外国語	（英（注1）, 独, 仏, 中, 韓から1）		200 点																												
			合計 800 点																												
			[5 教科7 科目]																												
選 抜 方 法 等	1. 選抜は、第1次選考及び第2次選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、その他の書類、大学入試センター試験の得点により、出願資格および出願基準を満たしているか評価し、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、募集人員の2倍程度になるよう選考します。 3. 第2次選考 第1次選考の合格者に対し、小論文と面接試験を実施し、本学ドクターコースへの進学や薬学に対する勉強意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。 ※ 配点 小論文 50 点 面接試験 100 点																														
日 程 等	・大学入試センター試験： 1月中旬 ・出願時期： 1月中～下旬 ・第1次選考結果発表： 2月上旬 ・第2次選考： 2月上旬 ・合格発表： 2月上旬																														

② 医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200		200			400
	計	200	100		400	200	400			1300



【変更後（平成30年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」							
		理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」から1							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		400	200	200			1000
	個別学力検査等				200	200	200			600
	計	100	100		600	400	400			1600

② 医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等							400		400
	計	200	100		200	200	200	400		1300



【変更後（平成30年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		400	200	200			1000
	個別学力検査等							400		400
	計	100	100		400	200	200	400		1400

② 医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等								400	400
	計	200	100		200	200	200		400	1300



【変更後（平成30年度）】

		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	100	※100 (100×1)		400	200	200			1000
	個別学力検査等								400	400
	計	100	100		400	200	200		400	1400

③ 医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	理 科 外 国 語	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
	配点	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200		200			400
	計	200	100		400	200	400			1300



【変更後（平成30年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学 理 科 外 国 語	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
	配点	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200	200	200			600
	計	200	100		400	400	400			1500

㊦ 医薬保健学域保健学類理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。	
3. 配点	
面接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）	100点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。										
		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）							
		公 民	（「倫理、政治・経済」）							
		数 学	（「数学Ⅰ・数学A」と （「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）							
		理 科	（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2）							
		外 国 語	（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			【5教科7科目】							
	個別学力検査等	その他	面接（調査書、推薦書、志願理由書を含む）							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等							600		600
	計	200	100		200	200	200		600	1500

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。